



2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社シイエヌエス 上場取引所 東
コード番号 4076 URL <https://www.cns.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 政英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 猪子 昌俊 TEL 03 (5791) 1001
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	5,186	4.1	420	△17.9	442	△16.1	299	△14.5
2024年5月期第3四半期	4,980	14.0	512	15.5	527	12.6	350	11.1

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 299百万円 (△14.5%) 2024年5月期第3四半期 350百万円 (11.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	103.09	—
2024年5月期第3四半期	120.63	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第3四半期	4,945	3,831	77.5
2024年5月期	4,933	3,671	74.4

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 3,831百万円 2024年5月期 3,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2025年5月期	—	0.00	—		
2025年5月期（予想）				49.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,562	13.6	660	6.6	676	4.0	489	6.2	168.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期3Q	2,906,000株	2024年5月期	2,906,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	ー株	2024年5月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期3Q	2,906,000株	2024年5月期3Q	2,906,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革、DX（デジタルトランスフォーメーション）への投資意欲が依然高いままで推移いたしました。基幹システムの刷新やクラウドへの移行、生成AIの利活用等、国内IT市場の規模は今後も拡大が見込まれる一方で、IT・デジタル人材は不足しており、採用環境は厳しい状況となっております。

このような環境の下、当社グループは2030年度における目指す姿「『人を想う』事業やサービスを通じて社会的課題を解決し、人や社会、未来に貢献する企業グループ」の実現に向けて『中期経営計画（2025～2027年度）』を開始いたしました。基本方針「エンパワーメントの促進とイノベーションの醸成」に基づき、「1. 事業基盤の強化」「2. 新たな顧客獲得による事業規模拡大」「3. ソリューションの拡充による市場拡大」「4. 新たなビジネス機会の創出に向けた提案力の強化」「5. 社会課題を起点としたビジネスの創出」の5つの戦略に取り組み、最終年度における数値目標の売上高100億円、営業利益率10.0%以上の達成を目指します。

【当四半期の状況】

デジタル革新推進事業では、キャッシュレス決済サービス案件において実績が評価され対応領域が拡大したことに加え、ServiceNow導入支援や生成AI関連ほか既存案件の体制が拡大したことで、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比19.7%増の1,606,471千円となりました。

ビッグデータ分析事業は、既存案件及び第1四半期から開始した新規顧客案件の体制が順調に拡大した結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比19.4%増の1,018,898千円となりました。

システム基盤事業では、当社オリジナルサービス「U-Way」の引き合いが引き続き増加しており、当第3四半期において新規エンドユーザー3社より受注いたしました。加えて、地方自治体におけるガバメントクラウド案件が開始する等、顧客都合によるプロジェクト凍結・開始延期等による影響をカバーできたことで、当事業の売上高は、前年同期比0.5%増の1,339,769千円となりました。

業務システムインテグレーション事業は、経済安全保障に係る案件や、証券会社向けシステム構築案件等の体制が順調に拡大した上、実績づくりに取り組んでいるERPに係る案件が開始いたしました。しかしながら、一部の既存顧客における運用保守案件の体制の大幅な縮小による影響をカバーできず、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比1.6%減の1,142,418千円となりました。

コンサルティング事業については、今期、立て直しを図ることを目的に体制を大幅に縮小している中で、既存案件における増員、獲得した新規顧客における提案活動を進めております。この結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、前年同期比72.8%減の79,196千円となりました。なお、新規コンサルティング人材を採用し顧客基盤の拡大にさらに注力したことにより、売上総損失4百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,186,754千円（前年同期比4.1%増）となりました。社外向けPR活動の縮小により広告宣伝費が減少しているものの、期初に実施したベースアップ等による人件費増、バックオフィス業務委託に係る支払報酬等の増加により販管費率は1.5ポイント増加、営業利益は420,843千円（同17.9%減）、経常利益は442,663千円（同16.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299,589千円（同14.5%減）となりました。なお、ベースアップを含むおよそ11%の賃上げの影響については、製造原価に含まれる労務費を含め、人件費率は前年同期比2.1ポイント上昇いたしました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,945,948千円となり、前連結会計年度末と比較して12,438千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が218,975千円減少した一方で、新オフィスの賃借契約などの影響により投資その他の資産のその他に表示されている敷金及び保証金が179,471千円、売掛金及び契約資産が104,483千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,114,179千円となり、前連結会計年度末と比較して

147,662千円の減少となりました。これは主に、買掛金が43,137千円、賞与引当金が76,354千円増加した一方で、未払法人税等が67,434千円、その他に表示されている未払金が192,823千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,831,768千円となり、前連結会計年度末と比較して160,101千円の増加となりました。これは主に、配当により利益剰余金が139,488千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が299,589千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における取り組みは、概ね計画どおりに進んでおり、2024年7月11日付「2024年5月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。なお、別途、2025年5月期第3四半期決算補足資料を開示しておりますので、併せてご確認ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,874	3,354,899
売掛金及び契約資産	697,414	801,898
棚卸資産	4,243	2,841
その他	73,557	44,980
流動資産合計	4,349,090	4,204,619
固定資産		
有形固定資産	64,981	58,007
無形固定資産		
ソフトウェア	49,330	37,229
ソフトウェア仮勘定	-	2,200
その他	45	41
無形固定資産合計	49,375	39,470
投資その他の資産		
保険積立金	257,224	250,979
その他	264,556	444,591
貸倒引当金	△51,719	△51,719
投資その他の資産合計	470,062	643,851
固定資産合計	584,419	741,329
資産合計	4,933,509	4,945,948
負債の部		
流動負債		
買掛金	352,060	395,197
リース債務	2,824	2,879
未払法人税等	121,538	54,104
賞与引当金	-	76,354
その他	357,787	150,490
流動負債合計	834,210	679,026
固定負債		
リース債務	7,826	5,659
役員退職慰労引当金	330,215	339,864
退職給付に係る負債	89,590	89,629
固定負債合計	427,632	435,153
負債合計	1,261,842	1,114,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,775	478,775
資本剰余金	434,675	434,675
利益剰余金	2,758,217	2,918,318
株主資本合計	3,671,667	3,831,768
純資産合計	3,671,667	3,831,768
負債純資産合計	4,933,509	4,945,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	4,980,134	5,186,754
売上原価	3,739,985	3,928,482
売上総利益	1,240,149	1,258,272
販売費及び一般管理費	727,867	837,428
営業利益	512,282	420,843
営業外収益		
受取利息	34	1,451
受取配当金	9,000	10,000
助成金収入	2,965	10,240
その他	5,931	1,342
営業外収益合計	17,931	23,034
営業外費用		
支払利息	220	171
保険解約損	2,309	1,014
その他	0	29
営業外費用合計	2,530	1,215
経常利益	527,682	442,663
特別損失		
減損損失	13,592	-
その他	172	45
特別損失合計	13,765	45
税金等調整前四半期純利益	513,917	442,617
法人税等	163,379	143,028
四半期純利益	350,537	299,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,537	299,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	350,537	299,589
四半期包括利益	350,537	299,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,537	299,589

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数および資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において本社移転が決定したため、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についての新たな情報の入手に伴い、原状回復費用及び使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ6,984千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	25,059千円	30,514千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

当社グループは、システムエンジニアリングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。